教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 幼児教育学科　　資格： 准教授　　氏名： 久米　裕紀子

研究分野	研究内容のキーワード
幼児教育学、保育学	保育指導法　教育・保育課程論　　保育実践研究　保育者論　教育実習指導
学位	**最終学歴**
短期大学士（保育学） 修士学位（教育学）	武庫川女子大学大学院　文学研究科　教育学専攻

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.教育学の入門として、幼稚園・保育所・こども園の幼児教育について理解を深める	2022年4月～現在	教育学科1年生の幼児教育についての入門。幼稚園・保育所・こども園で行われる環境を中心とした幼児教育について学ぶ。保育者としての心得や乳幼児の発達、一人一人の個性や特性を踏まえ、保育者としての資質について学びんでいく。（「教育学への招待」）
2.保育者として、乳幼児の言葉の獲得についての理解を深める	2022年4月2024年3月	乳幼児の発達過程を踏まえながら、言葉の獲得、保育者としての関わり方、遊びについて学び、実践で必要な教材づくり、発表を通して、保育者の援助や心もちを考える。（「子どもと言葉」）
3.大学生としての自覚と、学びへの積極性や自分の目指す将来の姿への期待感とそれに向かう過程を築いていく	2017年4月～現在（隔年）	大学生活や学びをサポートし、必要に応じて、実践的な演習を行い、計画力、実践力を育んでいく。採用試験に向けて、早めの指導を行い、保育者になるという自覚を持って自分の課題に向かっていくよう促していく。（「初期演習」）
4.保育者の専門性をふまえ、総合的な遊びの構想から指導指導計画を立案し、模擬保育を実践し、学びを共有し保育力の向上へつなげる	2016年4月～現在	附属幼稚園と連携し、専門性を高めるために座学や実習での学びを実際に園児たちと関わりを通して実践する機会をつくっている。幼児理解・保育者の役割・保育内容と方法（言葉の領域）・指導計画作成、保育実践等、最終の学び段階として、保育者になっていくという自覚と責任を促す授業である。実践から学びを共有し、現職の園長先生の講話を聴く機会を持ち、自分の目指す保育者像や子どもに向かう熱意、意欲につなげる。理論・演習・実践の統合を目指している。（「保育・教職実践演習」大教4年生）
5.保育者の専門性をふまえ、総合的な遊びの構想から指導指導計画を立案し、模擬保育を実践し、学びを共有し保育力の向上へつなげる	2016年4月～現在	附属保育園・公立幼稚園との連携し、保育を実践していく演習である。本授業において学んだ幼児理解・保育者の役割・保育 内容と方法（言葉・環境・表現）・指導計画作成・保育展開等に関する事項を附属保育園や近隣の公立幼稚園で実践する。必要な教材作成を行い、理論・演習・実践の統合を目指している。（「保育・教職実践演習」短期大学部2年）
6.総合的な遊びの構想、指導計画の立案、模擬保育の実施及び実践の振り返りを通して連続的な学習過程の構築	2016年4月～現在	長期の保育指導計画をふまえ、総合的な遊びの構想、指導計画の立案、公立幼稚園・附属幼稚園とでの保育観察及び保育実践に基づいた演習・実践研究を展開。観察記録、記録に基づく討議、資料作成、観察した実践につながる保育構想、保育実践(言葉の領域）、実践に基づいた学びを重視している。（「教育演習」）
7.教育課程論：保育所保育指針・幼稚園教育要領・認定こども園保育・教育要領に基づき保育指導計画の必要性を学ぶ。指導計画の種類やその作成過程について学び、総合的な遊びから学ぶ乳幼児期の特性、遊びの重要性を理解する	2016年4月～現在	保育園・幼稚園･認定こども園などの教育過程について、各施設の特徴や保育理念やめざす子ども像について、保育所保育指針や幼稚園教育要領、認定こども園保育教育要領を元に、保育目標に向かって、子どもの実態を踏まえて、保育課程や教育過程が作成されていくこと、また保育の内容、教師の援助、保育案がつながっていくことが結び付いていること乳幼児は遊びから学ぶということへの理解につなげる。（「教育課程・保育計画論」）
8.実践的な遊びや保育の構想から指導計画作成と保育実践に向けての連続的な学習過程の構築	2016年4月～現在	教育実習への心得、保育現場の取り組み、保育の視点、幼児理解や保育環境について、保育者の資質など

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
		について指導を行っている。保育者になるという気持ちを持ち、考えること、行動できること、子どもを支えていく保育者としての自覚を促していく。観察記録の書き方、保育指導案の立て方など、具体的な方法を教示している。実習に関する個人的な相談事にも対応し。学生がどこに迷い、困っているのかを探りながら、保育の全体的なイメージをつかめるよう、保育指導案の細やかな立て方などの指導を行っている。保育をすることが楽しいと感じられる具体的な実践を伝えている。「教育実習事前事後指導Ⅰ（幼）」
9.実践的な遊びや保育の構想から指導計画作成と保育実践に向けての連続的な学習過程の構築	2016年4月2023年3月	小学校コースの学生で幼稚園教諭免許状の取得を目指す学生に、教育実習への心得、保育現場の取り組み、保育の視点、幼児理解や保育環境について、保育者の資質などについて指導を行っていた。幼少連携の意識にもつながるよう保育について学ぶことに重点をおいている。子どもを支えていく保育者としての自覚を促し、観察記録の書き方、保育指導案の立て方など、保育の全体的なイメージをつかめるよう、指導を行っていきた。保育をすることが楽しいと感じられる具体的な実践を附属幼稚園で行っていた。「教育実習事前事後指導Ⅱ（幼）」
10.保育者としての心構えや保育現場のことを学び、保育者を目指す気持ちを育てる	2016年4月2022年3月	新一年生の授業として、保育者になりたい、保育者を目指す気持ちを育成することを意識して授業を行っている。幼稚園の生活や保育者の役割についパワーポイントなどを使い、保育現場の写真・映像を使用し具体的に分かるよう講義を行っている。保育現場で求められる保育者の資質や遊びについてレポート提出させ、学生同士が意見を交流する場を持ち、共有していくことや自分から発信していく経験ができるようにしている。（「保育者論）」
2 作成した教科書、教材		
1.『幼児教育・保育方法論』	2024年11月代てい	『幼児教育・保育方法論』（教育出版社）のテキストの第２章 第２節主体的な学びの実現とは、第3節 対話的な学びの実現とは、4節 深い学びの実現とはを執筆。
2.新教・短教「保育・教職実践集」教材資料集	2024年1月11日	保育・教職実践演習の授業での実践を、実践集としてまとめた。
3.『新・保育の計画と評価』 教育情報出版	2023年7月発刊予定	科目「保育の計画と評価」「教育・保育カリキュラム論」テキスト 本書の特長：事例やワークを通して,計画の構想力をつけ,保育の計画のおもしろさを実感できる。グループセッションやワークを通して,理論と実践を結びながら理解を深めていく。第2章5節 長期計画・短期計画はどう書けばいいの?を執筆。
4.『教育課程・保育計画総論』建帛社　ISBN/978-4-7679-5135-5	2023年5月31日	『幼児教育・保育課程論』（戸田雅美・佐伯一弥　編著）2017年に公表された「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」に基づき，内容を改め，（戸田雅美・西本望　編著）の基に新たに刊行されたものである。第7章　幼児の指導計画立案の実際を執筆。
5.安部孝編『シリーズ保育実践につなぐ　カリキュラム論――教育・保育の計画と評価』ISBN：978-4-86015-566-7	2021年10月20日刊行	安部孝編『シリーズ保育実践につなぐ　カリキュラム論――教育・保育の計画と評価』ISBN：978-4-86015-566-7　　第４章　記録と省察―子どもの姿の捉え方の執筆を担当。
6.小川圭子編著『保育者論―子どものかたわらに』（シリーズ　知のゆりかご）JSBN:978-4-86015-412-7	2017年9月20日発刊	『保育者論』－子どものかたわらに　【シリーズ知のゆりかご】小川圭子編 第10章「失敗」から学んでいく　第1節ベテランと新人の違い－事例から考える　第2節保育カンファレンスについて　　ｐ152-160　　柏 まり　川村 高弘　栗岡 あけみ　鎮 朋子　大和 晴彦　久米 裕紀子など

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
7.保育実践からの学び（資料集）	2017年7月	大教「教育実習指導Ⅱ」の授業の中で、小学校免許が主で、幼稚園免許が副出。幼稚園教育実習に行かない学生に対して、近隣の公立幼稚園での保育実践を行っている。指導案作成、教材作成、実践の振り返り、保育参観からの学びを資料集としてまとめた。
8.短教「保育・教職実践演習」からの学び（教材資料集）	2017年1月	「保育・教職実践演習」の授業で近隣公立幼稚園での保育実践への取り組みについて、指導計画、保育指導案作成からの気付き、教材研究、保育の振り返り、学びや気付きをまとめ、保育現場で役立つ資料集を作成。毎年、その成果をまとめ発刊。
9.大教「保育・教職実践演習」資料集①～⑥	2016年1月	「保育・教職実践演習」の授業で、模擬保育を実施し、その振り返りと、その保育指導案を更に練り直し、附属幼稚園の子どもたちを招待し「にこにこタイム」を実施している。その取り組みを現場で役立つ保育実践まとめ資料集作成。毎年、作成。
10.短教「保育・教職実践演習」からの学び（教材資料集①～⑥）	2016年1月	「保育・教職実践演習」の授業で近隣公立幼稚園での保育実践への取り組みについて、指導計画、保育指導案作成からの気付き、教材研究、保育の振り返り、学びや気付きをまとめ、保育現場で役立つ資料集を作成。毎年、その成果をまとめ発刊。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.茨木市立こども園水尾幼稚園	2024年12月11日	茨木市の公立幼稚園では、3つの研究部会（表現、ことば、環境）に分かれて保育に関する研究を進めています。環境部会の今年度のテーマを「子どもがいきいきと活動できる環境とは」の講師として、保育実践と講話をする。
2.宝塚市立長尾幼稚園　　園内研究会講師	2024年11月21日	園内研究会に参加。講話する。
3.茨木市立認定こども園福井幼稚園　園内研究会講師	2024年11月	茨木市立認定こども園福井幼稚園　園内研究会講師として、「様々な体験を通して自己充実し、仲間と共に育ち合う子どもを育む～主体的に取り組みたくなる環境を考える～」というテーマで取り組む園の研究会の講師。
4.令和6年度　西宮市立幼児教育研修の講師	2024年7月8日予定	西宮市立子育て総合センターより講師依頼。西宮市の公私立幼稚園、保育所、認定こども園、認可外・地域型保育施設教職員を対象とした研修会の講師。テーマは「 乳幼児期の遊びについて 」
5.宝塚市立長尾幼稚園　　園内研究会講師	2024年6月20日	3歳。4歳のクラスで保育実践をする園の取り組んでいる好きな時間の遊び。子どもたちの話し合いを参観し、協議に参加する。「自らやりたいと動き出し、心つながる幼児の育成」~心のときめきに着目して~というテーマで講話。
6.附属中高・高大連携	2024年5月15日～現	令和７年度の高校２年生から総合的な探究の時間で、教育学部・経営学部と連携し、教育活動を進めています。「保育」の観点で授業を担当。
7.神戸女子大学　文学部　教育学科　非常勤講師	2024年4月1日～現在	神戸女子大学　文学部　教育学科　非常勤講師として、「幼児教育の方法と技術」大学3年生、4年生の授業を担当。
8.茨木市立認定こども園福井幼稚園　園内研究会講師	2023年11月22日	運動会後の秋の保育について、園内研究会の講師として招聘。 「『遊びこむ』友達と気持ちがつながる遊びの内容や環境について」保育実践提供・講話
9.茨木市立天王幼稚園　　園内研究会講師	2023年10月20日	運動会後の秋の保育について、園内研究会の講師として招聘。 『遊びこむ』わくわくどきどき感を味わく制作活動の保育実践提供と講話
10.令和5年度芦屋市職員研修の講師	2023年5月29日	令和5年度芦屋市職員研修への講師。「不適切保育」についての意識を高め、保育の専門性について考える。講話・グループワークを通して、保育の質の向上につなげる。

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
11.芦屋市　あゆみ保育園の研修会講師	2023年5月20日	令和5年度　あゆみ保育園の職員研修の講師。「不適切保育」についての意識を高め、保育の専門性について考える。講話・グループワークを通して、保育の質の向上につなげる。
12.神戸市立葺合高等学校　進路ガイダンス講師	2023年2月16日	神戸市立葺合高等学校1年生を対象に保育・幼児教育について、学部学科分野理解の説明を行う。
13.兵庫県立西宮甲山高等学校　　模擬授業・学科説明会	2022年12月16日	県立西宮甲山高等学校の学生（1年生）が武庫川女子大学に来校した際に、模擬授業（保育）、学科説明会を行う。
14.茨木市立北幼稚園　研究会講師	2022年12月15日	園内研究会の講師として招聘される。お話遊びについて、保育を考える。
15.兵庫県立宝塚西高等学校　学部学科分野説明会講師	2022年9月7日	県立宝塚西高等学校1年生を対象に保育・幼児教育について、学部学科分野理解の説明を行う。
16.兵庫県立三木高等学校　（進路）ガイダンス講師	2022年7月11日	県立三木高等学校にて、１年生を対象に保育・幼児教育について、模擬授業を行う。
17.姫路保育専門学校子ども科　課題研究　非常勤講師	2022年4月～2024年3月	姫路保育専門学校にて2年生の課題研究の授業を担当している。
18.姫路福祉保育専門学校子ども科　保育実習指導Ⅱ　非常勤講師	2022年4月2024年3月	姫路福祉保育専門学校にて、2年生の保育実習指導Ⅱを担当している。
19.兵庫県立加古川西高等学校　（進路）ガイダンス講師	2021年7月14日	兵庫県立加古川西高等学校2年生の生徒を対象に1限目は、幼児教育についての説明。幼稚園における保育実践の映像をパワーポイントなどで見ながら、保育者という職業の魅力を伝え幼児教育への興味関心を促す。2限目は、小学校教諭養成課程の説明。
20.兵庫県立三木高等学校（進路）ガイダンス講師	2021年7月13日	兵庫県立三木高等学校の生徒を対象に模擬授業を2回実施。幼稚園における保育実践の映像や、保育者という職業の魅力を伝えていく。実践的な遊びを取り入れ幼児教育への興味関心を促す授業。
21.姫路福祉保育専門学校子ども科　基礎演習　非常勤講師	2021年4月2023年3月	姫路福祉保育専門学校の保育士養成課程においての基礎的な演習の授業を担当している。保育の楽しさを伝え、実践力を育成。
22.姫路福祉保育専門学校子ども科　保育実習指導Ⅰ　非常勤講師	2021年4月2023年3月	姫路福祉保育専門学校において、保育実習指導Ⅰの授業を担当している。保育者としての心構、実践力の育成。
23.加西市立園長会　講師	2018年12月	加西市立幼稚園･こども園･保育園の園長･福園長の研修にて、講演。
24.日本世代間交流学会　事務局長	2018年4月1日2019年3月31日	2018年10月6日（土）、日本世代間交流学会第9回全国大会（大会テーマ：地域とともに育つ人とのつながり）が、武庫川女子大学中央キャンパス（鳴尾キャンパス）（西宮市鳴尾町１丁目）にて開催され（実行委員長：西本望氏）、無事に終了した。自由研究発表のほか、ピーター・ホワイトハウス氏による特別講演（学会企画）をはじめ、シンポジウム（大会企画）：地域の世代間交流活動、地域での取り組みを紹介するワークショップが行われ、事務局長として運営も携わる。
25.伊丹市立みずほ幼稚園　研究会講師	2018年4月1日2019年3月31日	幼稚園の研究会において、講師として、指導助言を行う。
26.親和女子大学　通信教育部　非常勤講師	2018年4月～現在	神戸親和女子大学通信教育部の非常勤講師として、保育内容の研究・言葉の指導を行う。
27.北千里高等学校　進路ガイダンス講師	2017年9月	北千里高等学校2年生の生徒を対象に模擬授業を2回実施。幼稚園における保育実践の映像をパワーポイントなどで見ながら、保育者という職業の魅力を伝えていった。折り紙などの実践的な遊びを取り入れ幼児教育への興味関心をもてる授業を展開した。
28.篠山市幼稚園・こども園教育会、全体研修会講師	2017年7月	篠山市幼稚園・こども園教育会、全体研修会講師
29.兵庫県立有馬高等学校　進路ガイダンス講師	2017年7月	県立有馬高等学校2年生の生徒を対象に模擬授業を2回実施。幼稚園における保育実践の映像をパワーポイントなどで見ながら、保育者という職業の魅力を伝えていった。折り紙などの実践的な遊びを取り入れ幼児教

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
		育への興味関心をもてる授業を展開した
30.高大連携授業	2017年6月	高大連携の一環として、武庫川女子大学附属高校3年生EL コース45名の生徒を対象に2回にわたって授業を実施。幼稚園における保育実践の映像をパワーポイントなどで見ながら、保育者という職業の魅力を伝えていった。ハンカチや折り紙などの実践的な遊びを取り入れたり、グループ ワークで討議を通したり、学びを深める授業を展開した。
31.姫路市立琴丘高等学校　進路ガイダンス講師	2017年6月	姫路市立琴丘高等学校2年生の生徒を対象に模擬授業を2回実施。幼稚園における保育実践の映像をパワーポイントなどで見ながら、保育者という職業の魅力を伝えていった。折り紙などの実践的な遊びを取り入れ幼児教育への興味関心をもてる授業を展開した。
32.篠山市幼稚園教育会全体研修会　講師	2017年5月	篠山市幼稚園教育会全体研修会の講師。「 表現活動としての幼児教育～普段の指導の中から どう発表会（劇遊び）につなげるか～」について講話。
33.親和女子大学教育学部教育学科　ゲスト講師	2017年2月	親和女子大学の教職実践演習のゲスト講師。「幼稚園における危機管理とは」パワーポイントによる講話。
34.親和女子大学教育学部教育学科　ゲスト講師	2016年9月	親和女子大学の教職実践演習のゲスト講師。「幼稚園における危機管理とは」パワーポイントによる講話。
35.親和女子大学教育学部教育学科　ゲスト講師	2016年2月	親和女子大学の教職実践演習のゲスト講師。「模擬保育に対する総評・指導案の立て方」・「幼稚園における危機管理」パワーポイントによる講話。アクティブラーニング型授業。
36.武庫川女子大学　文学部教育学科　ゲスト講師	2015年10月	武庫川女子大学の教職実践演習のゲスト講師。「幼稚園の遊び・生活について」パワーポイントによる講話。
37.親和女子大学教育学部教育学科　ゲスト講師	2015年8月	親和女子大学の教職実践演習「幼稚園における危機管理とは」パワーポイントによる講話。
38.親和女子大学教育学部教育学科　ゲスト講師	2015年2月	親和女子大学の教職実践演習「幼稚園における危機管理とは」パワーポイントによる講話。
39.親和女子大学教育学部教育学科　ゲスト講師	2014年8月	親和女子大学の教職実践演習「季節に応じた制作活動」実技と講話。
40.親和女子大学教育学部教育学科　ゲスト講師	2014年2月	親和女子大学の教職実践演習「模擬保育に対する総評・指導案の立て方」アクティブラーニング型授業をした。
41.芦屋市立精道幼稚園100周年お祝い会を主催	2011年11月3日	芦屋市立精道幼稚園　園長として、明治44年に誕生した精道村立精道幼稚園、芦屋市立精道幼稚園の100年の歴史を祝って、「つながり」をテーマに創立100周年事業を開催。
4 その他		
1.甲南女子高等学校で模擬授業	2024年9月25日	武庫川女子大学の教育学科について、話をし、模擬授業をする。
2.高校内ガイダンス（兵庫県立姫路南高等学校）	2023年11月9日	1年生を対象に保育・幼児教育について模擬授業を行う。
3.武庫川女子大学附属幼稚園　　保育実践提供	2023年11月2日	5歳児を対象に『遊びこむ』わくわくどきどき感を味わう制作活動の保育を実践する。
4.高校内ガイダンス（大阪府立北千里高等学校）	2023年9月20日	2年生を対象に保育・幼児教育についての模擬授業を行う
5.NHK　BSプレミアム「ヒューマニエンス」の取材を受ける	2023年8月8日	人類にとって「遊び」とはというテーマで、幼児教育の遊びについて、芦屋市立岩園幼稚園を紹介し、園児の様子を撮影し、大学にてインタビューに応える。 9月26日放送。
6.武庫川女子大学附属幼稚園　　保育実践提供	2023年7月7日	附属幼稚園5歳児クラスで保育実践提供。七夕祭りから「星」の身体表現遊びを実践する。
7.芦屋市立宮川幼稚園　　保育実践提供	2023年5月22日	4歳児・5歳児、それぞれのクラスで保育実践を行う。
8.茨木市立天王幼稚園　　保育実践提供	2023年5月18日	保育の質を高めることにつなげるために、保育現場で保育実践をすることから、自身の保育に活かしてもらう。
9.芦屋市立宮川幼稚園　　保育実践提供	2023年3月13日	保育の質を高めることにつなげるために、保育現場で

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
		保育実践をすることから、自身の保育に活かしてもらう。
10.芦屋市立岩園幼稚園　　実践保育提供	2023年3月13日	保育の質を高めることにつなげるために、保育現場で保育実践をすることから、自身の保育に活かしてもらう。
11.茨木市立北幼稚園　　保育実践提供	2023年2月28日	保育の質を高めることにつなげるために、保育現場で保育実践をすることから、自身の保育に活かしてもらう。
12.課題演習	2022年4月1日～現在	姫路保育専門学校保育こども科の2年生の実習似ついての課題演習 担当。
13.保育実習指導Ⅱ	2022年4月1日～現在	姫路福祉保育専門学校にて、保育こども学科2年生の保育実習に関する指導の授業を担当。応用観察・保育実習Ⅱについて指導していく。
14.保育実習指導Ⅰ	2021年4月1日～現在	姫路福祉保育専門学校こども科1年生の学生の授業を担当。（非常勤講師）保育実習について指導する。保育所実習を円滑に実施し、学びを 深めるために必要な基礎的な知識、技術、および姿勢・態度を理解し、習得する。
15.基礎演習	2020年4月1日～現在	姫路福祉保育専門学校こども科1年生の学生の授業を担当。保育実習に向けての、基礎演習の授業を担当。保育者の専門性を理解し、子どもにとって必要な生活環境を知り、遊びから成長していく過程を学んでいきます。保育の専門性をいかして学びを深め、保育の多様性を認められる視点を身につける。
16.保育内容「言葉」の指導	2018年4月1日～現在	親和女子大学の通信教育（幼児教育）の学生の、保育内容「ことば」のレポートと②を添削、修了試験の添削。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.2022科研費に採択	2022年4月1日2025年3月31日	保育者が「一人一人を育むために遊びこむ姿」をどう捉え、援助していくか、保育研究の在り方を検討していく。保育現場の「教育プログラム」への取り組みにアプローチすることを目指す。
2.保育士資格　（書換）	2021年5月取得	保母資格から保育士資格の登録
3.専修免許状	2021年4月1日	
4.修士学位	2019年３月31日	武庫川女子大学大学院文学研究科　教育学専攻
5.防火管理者	2007年9月	消防法施工令第3条第1項の規定による防火管理新規講習の課程を修了。（豊中市）
6.幼稚園教諭一種免許状	2006年7月	
7.保母資格	1982年3月	
8.幼稚園教諭二級免許状	1982年3月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.高校内ガイダンス（兵庫県立姫路南高等学校）	2023年11月9日	1年生を対象に保育・幼児教育についての模擬授業を行う。
2.神戸市私立幼稚園　連絡会	2023年11月8日	神戸市の私立幼稚園協議会にて養成校との意見交換会に出席。
3.高校内ガイダンス（大阪府立北千里高等学校）	2023年9月20日	2年生を対象に、保育・幼児教育についての模擬授業を行う。
4.兵庫県私立幼稚園協議会　養成校との交流会	2023年7月24日	兵庫県私立幼稚園協議会　養成校との交流会にて、就職や実習についての意見交換をする。
5.神戸市立葺合高等学校	2023年2月16日	神戸市立葺合高等学校の1年生を対象に保育の模擬授業と学科説明
6.兵庫県立西宮甲山高校　　保育の模擬授業と学科説明	2022年12月16日	大学にて　兵庫県立西宮甲山高校の1年生を対象に保育の模擬授業と学科説明

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
7.高校内ガイダンス　（兵庫県立宝塚北高等学校）	2022年10月12日	兵庫県立宝塚西高等学校　模擬授業（進路指導）
8.富山市立中学校生インタビュー対応	2022年10月6日	富山市立の中学生が幼児教育についてのインタビューに応える。
9.高校内ガイダンス（兵庫県立宝塚西高等学校）	2022年9月7日	兵庫県立宝塚西高等学校　模擬授業（進路説明会）
10.高校内ガイダンス（兵庫県立三木高等学校）	2022年7月11日	兵庫県立三木高等学校にて模擬授業実施予定。
11.大阪市私立幼稚園連合会に参加	2022年7月6日	大阪市私立幼稚園連合会の情報交換会に参加する
12.学校内進路ガイダンス	2021年7月13日	兵庫県立加古川西高等学校にて幼児教育の分野について説明する。
13.高校内進路ガイダンスにて模擬授業	2021年7月12日	兵庫県立三木高等学校にて模擬授業2回実施。
14.三田市私立幼稚園連合会　情報交換会に参加	2021年5月24日	コロナ禍で採用について、学生の状況、大学の状況など意見交流。今年度から新任を迎えた園長先生より様子を聞くなど。どのように学生にアピールしていくと保育フェアなどに参加が増えるのかなど養成校の希望、意見が求められた。
15.姫路市保育所連盟・保育協会　意見交換会	2021年5月20日	姫路市保育所連盟・保育協会　意見交換会に参加し、コロナ禍の中での就職活動をオンラインで進めていくことを確認。
16.教育学課キャリア支援チーム	2021年4月～現在	2022年度よりキャリア支援チーム長。2022短教1年生の採用試験のclassroomを立ち上げ、学生に情報を伝え指導。新情報を毎週更新していくようにしている。私立に関しては、保育フェアなどを教育実習指導のclassroomにて情報を伝えている。その他、特講の先生との連絡を取り合い、学生のエントリーシート、面接、実技の採用試験対策を学生の要請に合わせて随時、行っている。
17.教育学科学生活動支援チーム	2021年4月2022.3. 31.	教育学科の学生活動支援チームとして、保育士修学金貸付事業を担当している。博報財団の奨学生の選抜、保育士修学金貸付の業務を行っている。短教コスチュームの復活に向けて学生の支援を行う。
18.ミュージカル部部長	2019年4月1日現在至	大学のミュージカル部の部長をしている。
19.学生委員(短教)	2019年4月1日2022.3.31まで	2019年、学生委員として短教幹事会の顧問を務める。（教育学科の学生委員ではなくなった2020年以降も、学科内の分掌として引き続き短教幹事会の指導をしている） コスチューム復活に向けて取り組み、委員を外れてもサポートしている。
20.芦屋市さくら保育園　評議員	2017年4月～現在	芦屋市のさくら保育園の評議員をしている。
4 その他		
1.茨木市立天王幼稚園にて　　保育実践提供	2023年5月18日	自身が保育実践をし、保育者の方々に観て学ぶ機会を提供する。子ども理解や保育の展開について、振り返り、保育の質の向上につなげる取り組み。
2.芦屋市立宮川幼稚園にて　　保育実践提供	2023年3月13日	自身が保育実践をし、保育者の方々に観て学ぶ機会を提供する。子ども理解や保育の展開について、振り返り、保育の質の向上につなげる取り組み。
3.芦屋市立岩園幼稚園にて、保育実践提供	2023年3月6日	自身が保育実践をし、保育者の方々に観て学ぶ機会を提供する。子ども理解や保育の展開について、振り返り、保育の質の向上につなげる取り組み。
4.茨木市立天王幼稚園にて　　保育実践提供	2023年2月28日	自身が保育実践をし、保育者の方々に観て学ぶ機会を提供する。子ども理解や保育の展開について、振り返り、保育の質の向上につなげる取り組み。
5.茨木市立北幼稚園　講師	2022年12月15日	茨木市立北幼稚園の保育の参観、保育実践をして、保育についての課題や子どもの遊びこむ姿への研究をする
6.公立幼稚園にて保育実践	2022年11月21日	久米ゼミ3年生が芦屋市立岩園幼稚園3歳児・4歳児・5歳児において保育実践を行う。保育の展開、援助について学ぶ機会とする。
7.高槻市立高槻こども園の視察訪問	2022年10月21日	高槻市立高槻こども園の施設、保育参観をして、園長先生と懇談をする。園の課題についての相談、保育について話をする。
8.公立幼稚園にて保育実践	2022年5月11日	久米ゼミ3年生を対象に、芦屋市立小槌幼稚園4歳児・

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
		5歳児保育実践を行う。保育計画の立て方、援助についての学びの場とする。
9.学科のFD研修にて「採用試験対策」について発表・報告	2022年2月16日	学部長裁量経費を頂き、幼保御採用試験対策について、現状を捉え、より良い方向性を考察するための取り組みについて発表・報告・提案をする。
10.附属幼稚園　保育研究会	2021年11月15日	附属幼稚園の保育研究会に参加。午前中は保育参観。午後から研究協議に参加する。
11.FD「採用試験対策」	2021年9月15日	FD研修会の「採用試験対策」の幼保の担当、脇田栄先生のサポートをする。資料のPowerPoint作成。Meet会議の補助（三木市）。
12.ウエアラブルアイカメラの模擬保育実践の記録から学び合う（科研分担者として）	2021年9月4日	7月に行った模擬保育の記録を視聴し、保育をした学生からの気付きと、子ども側の3年生からの学びについて意見交換、学びの共有。
13.模擬保育の実践を通して保育者の援助を探る（科研分担者として）	2021年7月3日	保育者（大教4年生）がウエアラブルアイカメラを装着し、その他の学生が子ども役になり、模擬保育を実施。附属幼稚園西森教諭もウエアラブルアイカメラ保育を実践。 芦屋市立小槌幼稚園長髙橋弘美先生、附属幼稚園西森教諭、久米ゼミ15名、遠藤晶ゼミ9名参加。
14.教育学課　キャリア支援チーム	2021年4月1日～現在	教育学科　キャリア支援チームとして、短教の公立採用試験のclassroomを作成。私立幼保の採用試験、保育フェアなどを学生に通知。2022年度キャリア支援チーム長。
15.教育学課　学生活動支援チーム	2021年4月1日2022.3.31.	教育学課　学生活動支援チーム。保育士修学貸付事業担当。奨学性選抜の担当。短教コスチューム復活に向けて学生支援を行う。
16.公立幼稚園にて保育実践よる調査研究（科研分担者として）	2021年1月8日	科研費による研究調査として、公立幼稚園にて生活発表会に向かっての保育をウエアライグアイカメラを装着して幼児の身体表現の指導における保育者の気づきについて実践を録画し、研究会を行う。
17.附属幼稚園　保育研究会	2020年11月	附属幼稚園の園内研究会に参加。保育参観、研究協議会に参加。
18.芦屋市立幼稚園実践・研究会	2020年9月30日	科研費による研究調査として、公立幼稚園にてウエアライグアイカメラを装着して幼児の身体表現の指導における保育者の気づきについて実践を録画し、研究会を行う。
19.附属幼稚園にて保育実践による研究調査（科研分担者として）	2020年1月22日	科研費による研究調査として、附属幼稚園にてウエアライグアイカメラを装着して幼児の身体表現の指導における保育者の気づきについて実践を録画し、研究会を行う。
20.学生委員	2019年4月1日～現在2020年3月31日	短教の学生委員を務める。学院が短大の学生委員は選任しなくなっても、実質、短教の学生委員を引き続き引き受け努めている。幹事会の支援、幹事懇談会の準備、学生の相談など。
21.芦屋市より勤続34周年表彰	2016年3月	
22.関西幼稚園連合会より幼稚園勤続30年表彰	2012年11月	
23.芦屋市立精道幼稚園創立100周年のお祝いの会主催	2011年11月3日	芦屋市立精道幼稚園　園長として、明治44年に誕生した精道村立精道幼稚園、芦屋市立精道幼稚園の100年の歴史を祝って、「つながり」をテーマに創立100周年事業を開催。
24.防火管理者	2007年9月	消防法施工令第3条第1項の規定による防火管理新規講習の課程を修了。（豊中市）
25.芦屋市より勤続25周年表彰	2006年11月	
26.関西幼稚園連合会より幼稚園勤続20年表彰	2001年11月	
27.芦屋市より勤続15周年表彰	1997年11月	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1.『幼児教育・保育方法論』	共	2024年11月予定	教育出版社	幼児教育・保育方法論』のテキストの第２章 第２節主体的な学びの実現とは、第3節 対話的な学びの実現とは、4節 深い学びの実現とはを執筆。
2.新 刊 新・保育の計画と評価	共	2023年7月1日	著 者 前田 和代（東京家政大学） 発 行 教育情報出版	科目「保育の計画と評価」「教育・保育カリキュラム論」テキスト 事例やワークを通して,計画の構想力をつけ,保育の計画のおもしろさを実感できる。グループセッションやワークを通して,理論と実践を結びながら理解を深めていく。
3.『教育課程・保育計画総論―乳幼児期から小学校教育へつながる計画―』	共	2023年5月31日発行	（株）建　帛　社 ISBN978-4-7679-5135-5	2011年（平成23年）に刊行された『幼児教育・保育課程論』（戸田雅美・佐伯一弥　編著）を基に，2017年（平成29年）に公表された「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」に基づき，内容を改め，装いを新たに刊行する（大学・短期大学・専門学校における保育者養成課程で使用する教科書　第７章　幼児の指導計画立案の実際 3・4歳児 20頁を執筆。
4.『教育・保育カリキュラム論』	共	2021年10月23日刊行	株式会社　みらい	大学・短大の保育養成課程における「保育。教育課程論」などに対応したテキスト。全体を通して「子どもの姿」「保育者の姿」をイメージできることを目指し。指導計画を自分で考えて作成できるようになるための内容。第4章　記録と省察11ページを担当。
5.『シリーズ知のゆりかご　保育者論』小川圭子編著	共	2017年9月20日刊行	株式会社　みらい	新人保育者に向けての『保育者論』の教科書 第10章「失敗」から学んでいく　第1節ベテランと新人の違い－事例から考える　第2節保育カンファレンスについてを執筆　（pp:164-170）
6.「思いやり、認めあう関係を」	共	21年12月	ジャパンマシニスト社（144頁）「ちいさい　おおきい　よわい　つよい」	保育者が日常の保育の中で感じたこと、伝えたいことをまとめ記した。お互いに育ち合う信頼関係を築いていく大切さを「保育の視点」「教師の援助」「家庭との連携」「保育者としての感性」「事実と向き合う」「誠実に対応すること」などの学びを記した。（pp：60～63執筆） 著者：山田 真編、山田真、毛利子来、久米裕紀子
2 学位論文				
3 学術論文				
1.保育の専門性を高めるための研修の在り方を探る――人一人への適切な援助をめざすー（査読付き）	単	2024年3月20日	武庫川女子大学『教育学研究論集』第19号	保育者の保育の質の向上をめざす取り組みの中で、研修の機会をどのように考えるか、その内奥や、保育者の学びの共有について、「不適切保育を考える」という研修テーマの講師を通しての、保育者の学びに着目した研究ノートである。
2.若手保育者の保育中の視線対象に関する検討～身体表現遊びの共感的相互作用への気付きに着目して～（査読付き）	共	2024年3月20日	武庫川女子大学『教育学研究論集』第19号	若手保育者の保育中の視線対象に関する検討 ～身体表現遊びの共感的相互作用への気づきに着目して～若手保育者を対象に，表現遊びの指導の際に何を見てどのように対応しているかを明らかにし，ウェアラブルアイカメラで記録した保育の記録を見ながら振り返りを通して共感的相互作用を高めるための気づきの内容や意図を検討する
3.保育の専門性を高めるための研修の在り方を探る――人一人への適切な援助をめざすー（査読付き）	単	2024年2月予定	武庫川女子大学『教育学研究論集』第19号	「不適切な保育」への国の対応などの流れを踏まえたうえで、アンケート結果から保育の専門性を引き出す取り組みを考察する。
4.保育者の専門性を育む　―　保育現場の取り組みから保育の質の向上をめざす　―（査読付き）	共	2023年2月20日	武庫川女子大学『学校教育センター紀要』　第8号	文部科学省は、2022年にモデル事業として、「幼保小の架け橋プログラム」をスタートさせた。保育現場で「保育力の向上」をどのように取り組んでいるのかということと併せて、実践を提供して学び合い、保育力の向上に生かしていくことをめざした研究計画である。p85~91
5.一人一人を育てる保育の研究ー芦屋市立精道幼稚園のあゆみー（査読付き）	単	2021年3月	武庫川女子大学『教育学研究論集』第16号	本研究は、芦屋市立幼稚園の「保育研究」についての取り組みを沿革史や研究紀要などからその変遷を辿り、一人一人を育てていく保育について考察した。昭和36年～平成までを中心にした研究報告。
6.幼児教育の専門性を育む―　遠隔授業の中で学生とのつなが	共	2021年3月	武庫川女子大学『学校教育センター紀要』第6号	令和2年度の前期の授業は，onlineでスタートした。このことを受け，昨年度の「幼児教育の専門性を育む」ための授業を今年度はどのように展開してくのか，online授業を進めていくために，どのよ

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
りを考える　ー（査読付き）				うな工夫が必要かということを授業担当教員で話し合った。online授業であっても，できるだけ対面授業に近いかたちで学生と向き合う授業を展開した実践報告である。
7.一人一人を育てる保育研究の在り方ー芦屋市立精道幼稚園のあゆみからー（査読付き）	単	2021年3月	武庫川女子大学『学校教育センター紀要』第6号	本研究は、芦屋市立幼稚園の「保育研究」についての取り組みを沿革史や研究紀要などからその変遷を辿り、一人一人を育てていく保育について考察した。創立明治44年～昭和36年（1911～1961）までの80年間を中心にした研究報告。
8.幼児教育の専門性を育む（査読付き）	共	2020年3月31日	武庫川女子大学『学校教育センター紀要』　第5号	幼児を理解することが保育の出発点となり、そこから一人一人の幼児の発達を着実に促す保育が生み出されてくる。この研究の主旨は、学生を対象にした授業の効果検証である。
9.「遊びこむ」姿を捉える保育者の視点（査読付き）	単	2020年3月1日	武庫川女子大学『教育学研究論集』　第15号　（原著論文）	「遊びこむ」という幼稚園現場で使われていく慣用語を専門用語として捉え、幼稚園教諭へのインタビュー調査から現場で活きている専門用語としての働きを探る。
10.教育実践演習におけるフィールドワークの展望を探る―学生の意識調査から考察する―（査読付き）	共	2020年2月29日	親和女子大学『児童教育研究』　第39号	教職実践演習におけるフィールドワークについて、その意義、実践を通しての学生の学び、取り組みの考察、成果と課題をまとめた。
11.幼児教育における慣用語の研究（査読付き）	単	2019年3月	武庫川女子大学『教育学研究論集』第14号	幼児教育で日常的によく使われる言葉「遊びこむ」や「言葉がけ」は，幼稚園や保育園の現場で活きて働いている言葉である。これらの幼児教育から生まれた「遊びこむ」「言葉がけ」という言葉について，それらが生まれ用いられる経緯や背景を探り，これらが幼児教育の世界で，幼児とかかわる大人が幼児について用いる独特の「言葉」(「慣用語」)として，どう浸透し，広がってきたのかについて検討し，それを通して幼児教育の専門性について考える。
12.保育・教職実践演習の授業改善の試み「にこにこタイム」の実践を通して－」（査読付き）	共	2019年3月	武庫川女子大学『学校教育センター紀要』第4号	実践2年目となる平成29年度の「にこにこタイム」の実施に伴い、授業の初回から情報を共有できるように授業計画を見直し、実施直後のアンケートを通して、主体的に考えて、学生自ら、動ける課題であったかについて検討し、2年目の授業実践を振り返る。
13.「 子ども理解を探る保育・教職実践演習－「にこにこタイム」の実践を通して－（査読付き） 」	共	2018年3月	武庫川女子大学『学校教育センター紀要』第3号	保育・教職実践演習の授業では、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待される。教員像や到達目標等に照らして最終的に確認することができるよう、附属幼稚園の子どもたちを招いて保育を行う「にこにこタイム」を実施した。学生が主体的に連携する姿勢を導き、保育者としての自覚、意欲を育成することを目指した。自立し連携する教員の育成は、主体的に計画し、実行して取り組みにおいてこそ達成可能である。
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
２．学会発表				
1.日本乳幼児教育学会にて研究発表		2024年11月16日	日本乳幼児教育学会第34回大会	「保育力の向上をめざして―保育を観る・考える・生かす―」というテーマで発表。
2.保育の質を高める実践4 ―関わりを促す場面に着目して―	共	2024年5月11日	日本保育学会　第76回大会	身体表現遊びを指導する際、保育者は子どもたちが遊びを楽しんでいるか、おもしろいと感じているか、どんな表現をしているかなどに注目し適切な対応していることを、ウェアラブルアイカメラの視点記録を通して示した。本研究は、身体表現遊びで子ども同士の関わりに対してどのように注目して言葉がけをしているかの指導実践例を示すという目的で行った。その成果、課題を発表した。
3.保育の質を高める実践3 ―遊びこむ姿につなげる保育者の援	共	2024年5月11日	日本保育学会　第76回大会	保育の質の向上をめざして、各園で園内研究会を行なっている。コロナ禍、なかなか保育を観合う機会がつくれなかったが、少しずつ、園内研究会の持ち方や、学びを共有するにはどうすればいいの

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
助一				かを考えて動き出している。保育者自身が自分の保育を観てもらうことで、保育を学ぶという従来の研究会ではなく、新しい試みとして、研究者の保育を観てそこから保育を考えるという視点を提案し、その取り組みを発表した。
4.保育力の向上を考える一幼児理解と援助の在り方一	単	2023年12月9日予定	日本乳幼児学会第33回大会	幼・保・子ども園などの保育現場では、2022年度文部科学省から「幼保小の架け橋プログラム」を受け、保育の質の向上をめざし取り組んでいる。保育力とは、子どもの「遊びこむ」力を育むことと捉えている。１） 「遊びこむ」力は、保育者の子どもへの理解（幼児理解）、保育実践力が不可欠である。子どもが主体となって遊ぶことを支える保育者の援助について、実践から考察していく。
5.保育の質を高める実践①～養成課程における保育学生の学びを分析する～	共	2023年5月14日	日本保育学会　第75回大会	保育養成課程の学生が、保育実践を通して、気づきや学びを確立していく過程を分析する。
6.保育の質を高める実践②～模擬保育における保育学生の視点に着目して～	共	2023年5月13日	日本保育学会　第75回大会	養成課程における保育学生が、模擬保育を通して、どこに視点を当て、保育を行なっているのかを分析し、哺育の質につながる指導法を考察す。。
7.保育者の専門性を育む一　保育の実践からの一考察	単	2022年12月3日	第32回　日本乳幼児教育学会発表	保育者の専門性を育む一　保育の実践からの一考察　一 2022年度、文部科学省は、「幼保小の架け橋プログラム」を進めている。全ての子どもに対して格差なく質の高い学びを保障するために、保育現場で「保育の質の向上」に向けて取り組んでいくことをめざす。保育者の専門性、保育の質について、実践から考察していく。
8.身体表現あそびにおける共感的相互作用を高める保育者の視点② ～ウェアラブルアイカメラによる記録分析を通して～	共	2022年5月15日	日本保育学会第75回大会研究論文集,K-249-250	保育者が子ども同士の関わりから生じる遊びの変化を期待し、意図した言葉がけや認めながら遊びを展開する援助に対して、子どもたちが保育者の援助を心地よく感じ、自分の思いを更に伝えていこうとする共感的相互作用の高まる事例を通して検討した。(共著者)遠藤　晶・久米裕紀子
9.劇遊びにつながる保育者の 保育 計画 や保育者の 共感的相互作用	共	2022年5月15日	第75回日本保育学会発表　研究論文集,K-247-248.	劇遊びにつながる保育者の 保育計画 や 保育者の 「共感」「イメージの共有」「意味づけ」「認め」などの援助について検討した。生活発表会 に向けて、絵本「 みつばち ぶんぶん」 （ひかりのくに をテーマに取り組んでいる 表現遊びの事例を挙げながら、保育者は 子どもの思い に アンテナを張り、 受け止め、感心したり、強調したり、驚いたり、納得したことを、子どもたちに伝え子どもたちを認めて援助をしていることを明らかにした。(共著者)久米裕紀子・遠藤　晶
10.幼児の身体表現の指導における保育者の気づき ～ウエアラブルアイカメラによる保育学生と指導経験者の視点分析を通して～	共	2022年3月	日本発達心理学会第33回大会発表論文集, 162.	身体表現の遊びの動画視聴による実験調査場面でのウェアラブルアイカメラによる注視対象の視線記録を用いて、身体表現遊びのなかで保育者と子どもの共感的相互作用が高まる遊びを見る視点が保育学生と指導経験者で違いがあるか比較検討を行った。(共著者)遠藤　晶・久米裕紀子
11.「遊びの中で幼児が本気になる瞬間を捉えて」	単	2021年12月18日	第31回日本乳幼児教育学会発表	保育者が「遊びこむ」姿を設定保育より、自由遊びの中で捉えていることがインタビュー調査で分かり、設定保育の中で「遊びこむ」姿を意識し、実践の中から「遊びこむ」姿の実際、実践の中からの読み取り、保育の質の向上に向け発表予定。
12.「幼児の身体表現の指導における保育者の気づきと対応① ～ウエアライグアイカメラによる検討～」	共	2021年5月16日	日本保育学会第74回大会研究論文集, P83-84.	身体表現の遊びにおいて、保育者がどこを見て何を感じてどのように指導をしているのかを明示するために、本研究ではウエアラブルアイカメラを装着した保育者の視線行動記録をおこない、保育者の

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
				気づきと対応について可視化を試みた。(共著者)遠藤　晶・久米裕紀子
13.「幼児の身体表現の指導における保育者の気づきと対応② ～遊びこむ姿を読み取る保育者の援助に着目して～」	共	2021年5月16日	第74回日本保育学会大会研究論文集,P85-86.	設定保育の中で「遊びこむ」姿につながる援助とはどのようなことなのか。遊びの中で、その子らしさを存分に発揮させて「本気になる」「遊びこむ」姿への保育者の気づきや援助について、ウエアブルアイカメラによる視線行動、言葉がけの記録より、子どもの姿への保育者の寄り添い方を考察した。(共著者)久米裕紀子・遠藤　晶
14.「遊びこむ」姿を捉える保育者の視点	単	2020年5月16日	第73回日本保育学会発表	研究発表「遊びこむ姿」について，保育現場でのインタビューを通し，幼児教育の中で活きてきた専門用語「遊びこむ」の言葉を立証していく。また，保育者が子どもの「遊びこむ」姿をどのように捉え，見極めているのかなど，保育者の「遊びこむ」姿を捉える視点や子どもへの援助についての考察を発表する。
15.「遊びの中で幼児が本気になる瞬間を捉えて」	単	2018年12月9日	第28回日本乳幼児保育学会 研究発表	保育者の援助としての言葉がけやまなざしについて、日々の保育の実践を省察し、分析した。
３．総説				
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1.研究紀要「豊かに感じ生き生きと生活する幼児をめざして」	共	2014年2月	芦屋市教育委員会、芦屋市立幼稚園研究会 （54頁）	芦屋市教育委員会指定幼稚園教育研究会を受け、「豊かに感じ生き生きと生活する幼児をめざして」を研究テーマに取り組んだ。協同する喜びを感じ、育ち合う仲間づくりについて、幼児が幼稚園の遊びの中で、発見したり、考えたりしながら、自己発揮し、友達とつながっていく保育内容や、環境構成など実践を通し、考察、課題を積み重ねた保育者の学びを紀要として作成してまとめた。（pp：1～6、 pp：39～40執筆）著者：村上洋子、田附俊一、久米裕紀子など
2.理数教育における『知』の連続性に基づく幼・小一貫「カリキュラム」の開発　基盤研究	共	2008年3月	文部科学省委託事業	甲南女子大学・人間科学部教授　船越俊介氏の依頼により、幼稚園現場における「数量と形及び考える力」の育成に関わる実情・実践と保育者の基本的な考えを資料発表した。幼稚園教育要領の「環境」のねらい（３）に、身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量文字などに対する感覚を豊かにすると記されている。幼稚園の生活や遊びの中で、そのことを取り入れている保育実践をまとめた。（pp：73～81執筆） 著者：船越俊介、上埜吉美、本多玲子、久米裕紀子
3.「道徳性の芽生えを培う指導の在り方」―幼児の規範意識を高めるために―	共	2008年3月	文部科学省委託 幼児教育改善・充実調査研究	文部科学省の委託を受け、「道徳性の芽生えを培う指導の在り方」―幼児の規範意識を高めるために―というテーマで研究を進めた。「よいことや悪いことを判断する力の育成」という視点で取り組んだ。幼稚園教育の中で道徳性の芽生えを培っていくことの大切さや日常の中で幼児が感じていること、気付いたことを道徳性の芽生えにつなげていく保育を展開し、何が育ったのかということを実践の中で検証し考察していった。（pp：20～23、 pp：24～27執筆）著者： 柴ひろ、高橋弘美、登正子、久米裕紀子
６．研究費の取得状況				
1.若手保育者の視線分析を通して―共感的相互作用―	共	2023年4月～現在	科研費基盤研究（C）	研究代表者：遠藤晶 研究分担者：久米裕紀子
2.幼稚園の変遷から、保育の研究の在り方、保育力の向上を探る-教育プログラムに繋ぐ	共	2022年4月1日現在	科研費基盤研究(C)（一般）	研究代表者：久米裕紀子 研究分担者：遠藤晶
3.幼児の共感的相互作用を高める身体表現遊びの指導法	共	2019年4月～2022年３月	科学研究費補助金基盤研究（ｃ）	研究代表者：遠藤晶 研究分担者：久米裕紀子

学会及び社会における活動等

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1.2022年4月1日2025年3月31日	科研費基盤研究(C)（一般）幼稚園の変遷から保育の研究の在り方
2.2017年4月1日2019年3月31日	第9回　日本世代間交流学会　事務局長